

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」秋田駅東校		
○保護者評価実施期間	令和6年11月20日		～ 令和6年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和6年11月20日		～ 令和6年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人の利用者の方を指導員全員でサポートしていること	利用者の方の状況を細かい点まで共有している	保護者の方の満足度を高めるために、支援後のフィードバックはもちろん、担当者会議や家族支援を積極的に行っている
2	多様な専門性を持つ職員が揃っていること	職員がそれぞれの専門性を活かせるよう、一人ひとり利用者の方についてそれぞれの視点から意見を述べ合っている	他事業所と積極的に交流することで、知識やスキルの向上を図っている
3	保護者の方の相談や要望に可能な限りお応えしていること	自身にない知識や専門性を、他の職員から教わるようにしている	相談支援員の方とも職員全員が関わり、利用者の方についての悩み事などについても共有している

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	入職して日が浅い職員で構成されていること	望まない退職者を出さないようにする	日々の支援以外にも、小集団やイベントなどを定期的に行い、職員の経験や知識を増やしていけるようにする
2	パーティションで支援室を区切っているため、完全な個室の確保が難しいこと	テナント型の事業所の為、パーティションで支援室を区切る以外の方法がない	今ある設備の元、周囲にも配慮しながらプログラムを組んで支援を行っていく
3	利用者の方の年齢が高く、夕方の時間帯が混みあい、入れ替えをスムーズに行うことが難しいこと	児童発達支援の利用者の方が少なく、平日の午前中や早い時間に行える支援が少ない	他事業所や保育施設などにチラシを配布し、積極的に声をかけていく 相談支援員や利用者の方の兄弟などを介して、児発率向上を目指していく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「クラ・ゼミ」秋田駅東校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2024年 12月 21日 回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	7	1	1	パーティションで仕切っていて普段の活動では十分だと思いますが広ければもっと何かできるのかなと思います。	活動に合わせてスペースを変え環境を整えています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	3		1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	3		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1			子どもの様子や特性をよく見ていただいています。	お子さまの成長に合わせて計画を見直し、ご要望もうかがいながら作成しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1		1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	2		2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1		4		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	2	3	10	機会があれば参加したいです。	保護者様からのご要望があれば、検討していきたいと思っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	3				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	2	8	機会があれば参加したいです。	開催について検討していきたいと思っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	3				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	4		2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	2		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	4	10		体制を整え、対応できるようにしていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	3		3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2		11		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	2		5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				パーティションで仕切られた空間で個別に支援が受けられて安心しているようです。	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後もご期待に沿えるよう支援してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20				楽しみで活動内容をよく話してくれました。毎日通いたいと話しています。	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後もご期待に沿えるよう支援してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1			コミュニケーションの広がりと私自身の気付きがありました。大変満足しています。学習だけでなく本人が楽しめる内容の支援が受けられるので大変満足しています。	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後もご期待に沿えるよう支援してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」秋田駅東校			公表日	2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		同時間帯に3人までの利用とし、密回避とスペース確保をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		基準人数を満たしている。利用人数に合わせて職員配置を調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		室内はバリアフリーになっており、視覚的に分かりやすいような掲示を心掛けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日掃除・消毒など衛生対策を行っている。また、利用児に合わせた支援室のレイアウトにし、机や椅子も変えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	パーティションで仕切り、個別での支援を行うことができる。	ワンフロアの為、パーティションで仕切っても、周りの音や声が聞こえてしまうことがある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		ミーティングだけでなく、気が付いたときに都度伝えあっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝晩のミーティングや、月例ミーティングで意見を出す場を設け、出た意見については全職員で話し合い業務の改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	法人として、他地域や他校舎からの監査を行い、評価や提言などを行っている。	今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部・内部の研修に積極的に参加し、研修報告を行っている。	内部研修には全職員が参加している。外部研修についても全職員が参加できるよう調整を行っている。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			2025年3月末までに公表。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		お子様の状況や保護者様の意向を踏まえ、担当者会議を行って作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		担当する指導員から利用児の状況を聞いて計画に盛り込み、担当者会議を行って計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		担当者会議で計画の内容を共有し、日々の支援は計画に沿った内容で行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに則り、相談支援事業所のサービス等利用計画、保護者の方や利用児の意向をうかがい、支援内容や目標を決めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	年間・月間計画を立て、担当者を決め、主担等を中心にミーティングを行い、イベントを開催している。	担当だけでなく、他の職員の意見も柔軟に取り入れていく。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		都度、成長に合わせて見直しを図っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		小集団イベントも盛り込んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝ミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		毎晩ミーティングを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		ケース記録をとり、継続課題や利用児の状況などを細かく共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月に1回以上モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自分で考える、判断する、選ぶ、決めるなどの経験を積み重ねることができるよう支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理者、児童発達支援管理責任者や主担当者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		体制を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	3	担当者会議の際や、直接メールや電話でやり取りを行っている。	体制を整えていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	必要に応じて情報共有を行うなど連絡を取り合っている。	体制を整えていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		該当なし（必要な時は情報共有を行う）	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		現在できていないが、今後機会を設けられるようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		現在できていないが、今後機会を設けられるようにしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		参加しているが、あまり積極的ではない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		支援後にフィードバックを行ったり、連絡帳や個別にメール等でのやりとりを行い、共有理解できるよう努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		今期は開催できていないが、希望があれば開催していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		変更などがあれば、随時個別に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリングで意見や要望をうかがっている。必要に応じて面談等もを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		児童発達支援管理責任者や主担当者が随時対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			定期的な開催はできていない。要望に応じて検討、開催していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情受付窓口を設置している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		ホームページ、LINE、Instagram等で随時発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		研修を行っている。個人のファイルや個人情報については、鍵付きの棚に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		体制を整えていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		毎月実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		毎月実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に口頭やフェイスシートで確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		該当なし。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		都度、シートに記入し報告している。年度ごとにファイルにまとめて保管している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		全職員が研修に参加している。また、委員会を開き情報共有を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		委員会を設置し、契約時に保護者の方へ説明し、同意を得ている。		